

Rashiku

日本介護福祉士会 ニュース

VOL.188

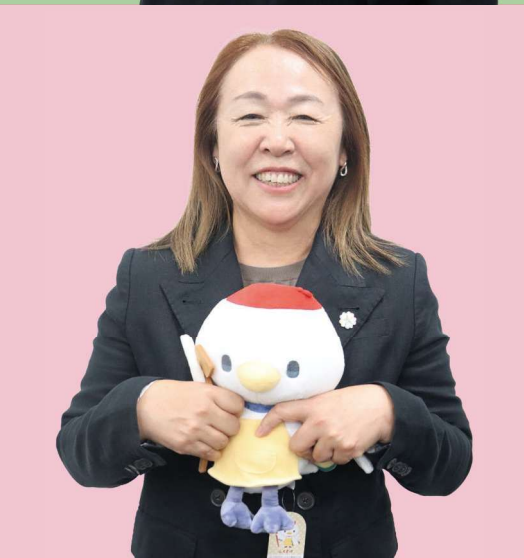
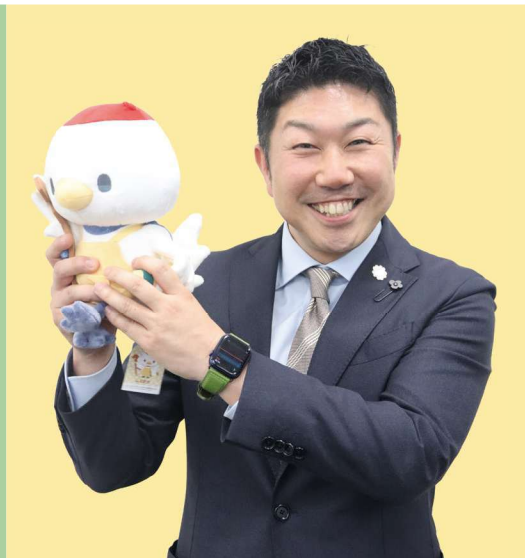
2026 AUGUST

仕事も、人生も、自分らしく、あなたらしく

特集

新役員を
紹介

Introducing the New Team



表紙の写真

募集中!

詳しくは14ページへ

教えて!

今村会長!

介護福祉にまつわる用語や素朴な疑問に今村会長がお答えします

【KEYWORD】

第17回

「LIFE」って何ですか?

お答え
します

介護サービスの質の向上を目的とした、
科学的なデータを活用する仕組みです。

今村会長



今回は、介護業界で注目されている「LIFE(ライフ)」についてご説明します。LIFEとは「科学的介護情報システム(Long-term care Information system For Evidence)」の略称で、厚生労働省が推進している仕組みです。LIFEの対象となる介護サービス事業所では、利用者の状態や介護の内容などの情報をLIFEへ登録します。登録されたデータは分析され、その結果が介護現場へフィードバックされることで、より質の高い介護の実現に役立てられています。

LIFEで何ができるんですか?



LIFEの目的は、科学的なデータを活用して、より良い介護につなげることです。例えば、利用者の心身の状態や介護の経過を継続的に記録することで、「この利用者にはどのような支援が効果的か」を考えやすくなります。また、全国から集められたデータをもとに、自分の施設・事業所の介護を振り返り、介護計画やケアの改善に役立てることが出来ます。

現場に導入するメリットは何ですか?



一つは、介護の質の向上につながる事です。LIFEからのフィードバックを参考にしながら介護計画を見直すことで、科学的根拠に基づく介護を実践しやすくなります。また、介護の実践を振り返る機



会が増えるため、職員同士で学び合い、介護技術や専門性の向上にもつながることが期待されます。
データの管理や負担が増えるのでは?



確かに、最初は入力作業に慣れるまで負担を感じることもあるでしょう。しかし、LIFEを継続的に活用することで、利用者の状態変化を把握しやすくなり、介護計画の見直しや職員間での情報共有にも役立ちます。また、全国から集められたデータが介護全体の質の向上につながるという点でも、大きな意義がある仕組みといえます。

LIFEの今後の展開は?



今後は、より多くのデータが蓄積されることで分析の精度が高まり、AIなどの技術の活用も視野に入れながら、介護現場で活用しやすいフィードバックが提供されることが期待されています。また、そうした分析結果を介護計画の見直しやケアの改善に生かすことで、一人ひとりの利用者に合わせて、より質の高い介護の実現につながることを期待されています。



LIFEは、利用者にとっても介護職員にとっても、より良い介護の実現を支える大切な仕組みなんです。今後も介護現場で活用されながらさらに発展していくことを期待したいですね。

第33回日本介護福祉士会全国大会 第24回日本介護学会

令和8年12/11(金)、12(土) in えひめ

愛媛県
から

vol.4

歴史と文化が息づく、愛媛の中核「中予」

愛媛県中予地域は、松山市を中心に伊予市・東温市・松前町・砥部町で構成され、約50万人を超える人口を有する県内最大規模のエリアです。古代より伊予国の中核として栄え、江戸時代には松山藩の城下町として発展しました。松山城や日本最古級の道後温泉は、歴史と文化を今に伝える象徴です。砥部町にある愛媛県立とべ動物園は、西日本有数の規模を誇り、ホッキョクグマのピースをはじめ多くの動物を間近に観察でき、家族連れに人気の観光スポットです。萬翠荘や坂の上の雲ミュージアムもあり、世代を超えて歴史と学びを楽しめる地域です。

